

『医学生のための漢方医学』第1版第1刷 正誤表

3頁 表1の出典

(誤)『医療概論』医歯薬出版, 1933より → (正)『医療概論』医歯薬出版, 1993より

16頁 参考文献 2) (誤)長尾一治 → (正)長尾和治

75頁 右段 9行目 「・肝気横逆」を削除。

75頁 右段 下から14～15行目

(誤)肝気横逆は、鬱結された肝気が脾胃の機能を障害するもので、結果として、特有の脾胃の病変がみられる。

(正)鬱結された肝気が脾胃の機能を障害するものを肝気横逆といい、その結果、特有の脾胃の病変がみられる。

103頁 肝の項目 「肝気横逆」の症状は「肝気鬱結」に含まれる。「肝気横逆」の項目は削除する。

(誤)	肝	肝気鬱結	抑うつ感・イライラ・胸脇部や少腹部の膨満感・遊走性の疼痛・胸苦しさ・舌苔は薄白・脈弦。
	肝	肝気横逆	梅核気・瘰癧(頸部の腫瘤)・女性では生理不順・生理痛・月経期の乳房腫痛・乳房の腫瘤。
(正)	肝	肝気鬱結	抑うつ感・イライラ・胸脇部や少腹部の膨満感・遊走性の疼痛・胸苦しさ・舌苔は薄白・脈弦。 梅核気・瘰癧(頸部の腫瘤)・女性では生理不順・生理痛・月経期の乳房腫痛・乳房の腫瘤。

147頁 左段 下から16行目

(誤)滲湿湿利水し → (正)滲湿利水し

150頁 左段 17行目

(誤)大桑 → (正)大棗